



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

上場取引所 東

コード番号 4820 URL <http://www.emsystems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國光 浩三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 青田 玄

TEL 06-6397-1888

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,847	8.4	989	84.3	1,448	53.5	906	55.0
25年3月期第3四半期	7,239	14.4	536	36.6	943	66.9	584	112.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 926百万円 (58.1%) 25年3月期第3四半期 586百万円 (116.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	116.67	114.94
25年3月期第3四半期	76.15	74.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	16,596	8,197	48.9
25年3月期	16,122	7,448	45.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,109百万円 25年3月期 7,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の期末配当は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	12,129	18.3	1,541	27.4	2,166	22.7	1,292	20.1	167.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	8,151,950 株	25年3月期	8,076,150 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	365,677 株	25年3月期	365,642 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	7,768,888 株	25年3月期3Q	7,679,427 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
第3四半期連結会計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
第3四半期連結会計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融政策に対する期待感から円安・株高が進行し、企業収益が改善する等、景気回復に向けた動きが見られるようになりました。しかしながら、欧州経済の低迷や新興国の成長鈍化等の不安要素は未だ解消されておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先であります調剤薬局を取り巻く環境といたしましても、景気の持ち直しの動きは見られるものの、設備投資意欲の回復には至っておらず、平成26年4月には消費税の増税が控えていることから、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで、当社グループは、変革し続ける医療業界におきましてIT技術を駆使したソリューションを通じ、医療サービスの向上を引き続き支援、リードしてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、7,847百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益989百万円（前年同期比84.3%増）、経常利益1,448百万円（前年同期比53.5%増）、四半期純利益906百万円（前年同期比55.0%増）となりました。

なお、第2四半期連結累計期間中に完全子会社化したしました株式会社ユニコン西日本並びに株式会社ユニコンについては、みなし取得日を平成25年9月30日としているため、当第3四半期連結累計期間より同社の損益計算書を連結しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業)

調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業につきましては、引き続き平成24年5月14日に公表いたしました中期経営計画の実現に向けて、調剤薬局向けシステム「Recepty NEXT」、医事会計システム「MRN（※1） クラークスタイル」、「ユニ・メディカル」及び電子カルテシステム「MRN カルテスタイル」、「ユニカルテ」の拡販に注力いたしました。

調剤薬局向けシステムにおきましては、引き続き大手調剤薬局チェーンを中心に積極的な新規出店を行っており、新規開局案件が非常に好調に推移いたしましたものの、自社リプレース、他社リプレースの販売案件は低調に推移いたしました。要因としては、平成26年4月に控えている診療報酬の改定が不透明であったことから、投資に対して様子見の傾向にあり、第4四半期に案件が集中している状況となります。医事会計システム及び電子カルテシステムにおきましては、株式会社ユニコンが連結子会社となったこともあり、当第3四半期の3ヶ月間の当初計画を上回る販売件数となり、着実に営業体制は整ってきております。また、サプライ販売におきましても、引き続き売上が好調に推移いたしました。

一方、利益面におきましては、医科システムの販売状況を鑑み医科専任インストラクターの中途採用計画の一部を見送ったことなどによる人件費の未消化が発生したことや、定期的なお客様訪問により機器等の故障を未然に防ぐ活動を強化したことでアフターサービス費並びに製品保証引当金が減少したこと、仕入価格の継続的な見直しや南京BPOの業務範囲拡大などによる継続的なコストダウンの取り組みなどにより、利益確保に努めました。

新大阪ブリックビルにおきましては、テナント事務所は100.0%の入居率、クリニックモールには5クリニックが入居しており、ビル資産の有効活用におきましても、市況の動きに合わせて慎重に検討しております。

また、政府の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT戦略本部）が公表した「新たな情報通信技術戦略」における医療分野の計画の一つである「『どこでもMY病院』構想の実現」におきましては、今後の医療業界の発展へ貢献すべく処方箋情報の電子化に伴うEHR（※2）及びPHR（※3）に関する研究開発や実証事業に継続して参加しております。国立感染症研究所感染症情報センターとの共同研究である「感染症流行探知サービス」におきましては、利用薬局は引き続き順調に増加しており、開通待ちのお客様を含めて全国で約10,000件となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業は、売上高7,891百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益989百万円（前年同期比90.8%増）となりました。

(※1) MRN:Medical Recepty NEXT

(※2) EHR:Electronic Health Record

(※3) PHR:Personal Health Record

(その他の事業)

その他の事業につきましては、株式会社ラソソにて、引き続き各事業で付加価値の高いサービス内容を強化して事業を推し進め、着実な収益確保で事業全体の底上げができました。また、平成25年6月に新大阪ブリックビル内でカフェをオープンしており、売上の増加に寄与しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間のその他の事業は、売上高210百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益55百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

(上記セグメント別の売上高及び営業利益は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が413百万円、その他流動資産が174百万円増加し、受取手形及び売掛金が113百万円、有価証券が299百万円減少したことによるものであります。固定資産は11,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ229百万円増加いたしました。これは主に連結子会社の株式取得に伴うのれんが218百万円増加したことによるものであります。なお、第2四半期連結会計期間末より新たに連結子会社となった株式会社ユニコンの資産が含まれております。

この結果、総資産は、16,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ473百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,601百万円となり、前連結会計年度末に比べ296百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が128百万円、短期借入金が100百万円、未払法人税等が347百万円、賞与引当金が92百万円減少し、1年内返済予定の長期借入金が180百万円、その他流動負債が161百万円増加したことによるものであります。固定負債は4,797百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が141百万円、役員退職慰労引当金が70百万円増加し、長期借入金が118百万円、リース債務が30百万円、製品保証引当金が41百万円減少したことによるものであります。なお、第2四半期連結会計期間末より新たに連結子会社となった株式会社ユニコンの負債が含まれております。

この結果、負債合計は、8,398百万円となり、前連結会計年度末に比べ275百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ749百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が674百万円、ストックオプションの権利行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ32百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.9%（前連結会計年度末は45.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結累計期間より、株式会社ユニコン西日本の株式取得により同社及びその子会社である株式会社ユニコンを連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社ユニコン西日本は、同社を吸収合併存続会社、株式会社ユニコンを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、平成25年12月1日付で連結の範囲から除外しております。また株式会社ユニコン西日本は、同日付で株式会社ユニコンに商号変更し、連結の範囲に含めております。

なお、株式会社ユニコンは特定子会社には該当しません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,240,175	1,653,335
受取手形及び売掛金	2,191,639	2,077,682
有価証券	500,261	200,333
商品及び製品	120,986	192,204
原材料及び貯蔵品	1,411	1,369
その他	631,553	805,639
貸倒引当金	△240	△260
流動資産合計	4,685,788	4,930,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,039,177	1,019,777
土地	702,881	702,881
リース資産（純額）	276,373	262,922
賃貸用資産（純額）	350,710	281,957
建設仮勘定	85,678	183,987
その他（純額）	131,100	137,470
有形固定資産合計	2,585,923	2,588,997
無形固定資産		
ソフトウェア	181,890	224,426
ソフトウェア仮勘定	37,668	89,104
のれん	—	218,811
リース資産	1,443	262
その他	5,200	7,172
無形固定資産合計	226,203	539,777
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	8,097,402	7,912,208
その他	527,609	625,377
貸倒引当金	△68	△88
投資その他の資産合計	8,624,943	8,537,497
固定資産合計	11,437,070	11,666,271
資産合計	16,122,858	16,596,576

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	790,589	661,912
短期借入金	600,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	480,000	660,428
未払金	420,898	434,173
リース債務	122,937	139,612
未払法人税等	534,416	186,872
賞与引当金	282,905	190,481
ポイント引当金	9,767	9,964
その他	656,408	818,090
流動負債合計	3,897,923	3,601,533
固定負債		
長期借入金	3,316,000	3,197,365
リース債務	183,543	153,171
退職給付引当金	408,619	549,949
役員退職慰労引当金	—	70,000
製品保証引当金	202,877	161,797
長期預り保証金	664,379	665,070
長期未払金	1,139	—
固定負債合計	4,776,558	4,797,353
負債合計	8,674,481	8,398,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,630,973	1,663,426
資本剰余金	1,602,078	1,634,531
利益剰余金	4,395,688	5,070,014
自己株式	△286,152	△286,231
株主資本合計	7,342,587	8,081,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,572	—
為替換算調整勘定	6,336	28,229
その他の包括利益累計額合計	7,909	28,229
新株予約権	97,880	87,720
純資産合計	7,448,377	8,197,690
負債純資産合計	16,122,858	16,596,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,239,411	7,847,866
売上原価	3,523,688	3,497,160
売上総利益	3,715,722	4,350,706
販売費及び一般管理費	3,178,844	3,361,228
営業利益	536,878	989,477
営業外収益		
受取利息	4,671	3,870
受取配当金	8,191	5,287
不動産賃貸収入	767,670	782,328
持分法による投資利益	—	30,146
その他	11,635	8,338
営業外収益合計	792,170	829,972
営業外費用		
支払利息	28,621	27,323
不動産賃貸費用	342,373	327,633
持分法による投資損失	11,668	—
その他	2,446	15,756
営業外費用合計	385,110	370,712
経常利益	943,937	1,448,736
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,977
新株予約権戻入益	1,401	4,262
特別利益合計	1,401	9,239
特別損失		
固定資産除却損	2,951	12,177
特別損失合計	2,951	12,177
税金等調整前四半期純利益	942,387	1,445,798
法人税等	357,624	539,419
少数株主損益調整前四半期純利益	584,763	906,379
四半期純利益	584,763	906,379

(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	2,299,865	2,899,493
売上原価	1,114,879	1,267,792
売上総利益	1,184,985	1,631,701
販売費及び一般管理費	1,048,314	1,259,648
営業利益	136,670	372,053
営業外収益		
受取利息	1,534	606
受取配当金	69	80
不動産賃貸収入	250,166	262,778
持分法による投資利益	—	10,964
その他	3,025	3,910
営業外収益合計	254,796	278,341
営業外費用		
支払利息	9,237	7,450
不動産賃貸費用	113,102	110,648
持分法による投資損失	1,277	—
その他	1,000	12,854
営業外費用合計	124,617	130,953
経常利益	266,849	519,441
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13
新株予約権戻入益	1,305	—
特別利益合計	1,305	13
特別損失		
固定資産除却損	82	1,312
特別損失合計	82	1,312
税金等調整前四半期純利益	268,073	518,142
法人税等	97,375	191,925
少数株主損益調整前四半期純利益	170,697	326,217
四半期純利益	170,697	326,217

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	584,763	906,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	346	△1,572
為替換算調整勘定	897	21,892
その他の包括利益合計	1,244	20,320
四半期包括利益	586,007	926,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	586,007	926,699
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	170,697	326,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,241	—
為替換算調整勘定	△4,133	3,277
その他の包括利益合計	△2,891	3,277
四半期包括利益	167,806	329,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,806	329,494
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。